

# さが県議会だより

2023年6月1日発行

No.57

令和5年  
2月定例会

新しい佐賀県議会の議員を紹介します 7Pには「議員クローズアップ」を掲載しています(全4回)

## 【佐賀市(11人)】



留守 茂幸(9)  
自由民主党



武藤 明美(8)  
日本共産党



木原 奉文(8)  
自由民主党



徳光 清孝(5)  
県民ネットワーク



藤崎 輝樹(5)  
県民ネットワーク



江口 善紀(4)  
県民ネットワーク



古賀 陽三(4)  
自由民主党



中本 正一(3)  
公明党

## 【唐津市・玄海町(6人)】



西久保 弘克(3)  
自由民主党



一ノ瀬 裕子(2)  
自由民主党



青木 一功(2)  
自由民主党



大場 芳博(5)  
自由民主党



木村 雄一(3)  
公明党



富田 幸樹(2)  
自由民主党



田中 秀和(2)  
自由民主党



桃崎 祐介(2)  
自由民主党

## 【鳥栖市(3人)】



酒井 幸盛(1)  
県民ネットワーク



指山 清範(5)  
自由民主党



中村 圭一(2)  
自由民主党



下田 寛(2)  
県民ネットワーク



野田 勝人(3)  
県民ネットワーク

## 【多久市(1人)】



岡口 重文(5)  
自由民主党

## 【伊万里市(2人)】



弘川 貴紀(2)  
自由民主党



猪村 利恵子(1)  
さが・ひと・未来の会

## 【武雄市(2人)】

## 【鹿島市・太良町(2人)】



石丸 太郎(1)  
自由民主党



土井 敏行(6)  
自由民主党



坂口 祐樹(5)  
自由民主党

## 【小城市(2人)】



藤木 卓一郎(7)  
自由民主党



池田 正恭(3)  
自由民主党

## 【嬉野市(1人)】



石井 秀夫(8)  
自由民主党

## 【神埼市・吉野ヶ里町(2人)】



八谷 克幸(4)  
自由民主党



古川 裕紀(2)  
自由民主党

## 【三養基郡(2人)】



宮原 真一(5)  
自由民主党



古賀 和浩(2)  
自由民主党

## 【西松浦郡(1人)】



原田 寿雄(5)  
自由民主党

## 【杵島郡(2人)】



石倉 秀郷(6)  
自由民主党



定松 一生(4)  
自由民主党

注1)【 】は選挙区及び定数  
注2) 選挙区ごとに当選回数、  
年齢順に掲載しています。  
上段：氏名(当選回数)  
下段：所属会派

## 主な内容

- ・議員の紹介 ..... 1
- ・2月定例会の概要・本会議質問など 主な代表質問と15人の議員が行った主な一般質問と答弁要旨 ..... 2～5
- ・委員会の概要 ..... 6
- ・議員クローズアップ ..... 7
- ・可決された条例・意見書、その他の議会活動など ..... 8

「インターネット 議会録画」  
や「会議日程」、「会議録」など  
がご覧いただけます。

佐賀県議会 検索



議案に対する議員の表决態度(賛否)は、県議会ホームページで公表しています。(佐賀県議会 → 議案等の審議結果 → 議案件名一覧)



# 令和5年2月定例会 概要 (会期 2月16日～3月10日)

2月定例会県議会では、県政運営の基本方針や県立大学、九州新幹線西九州ルート、農業の振興に関するものなど県政全般にわたる幅広い議論が行われました。

令和5年度当初予算案については、「さが新時代を切り拓く」との考えのもと編成された一般会計予算案などの議案が提出され、17件の予算案が原案のとおり可決されました。

## ○令和5年度当初予算関係

- 令和5年度一般会計予算（総額5,365億4,400万円、対前年比6.0%減）
- 災害救助基金特別会計予算案、工業用水道事業会計予算 など計17件

## ○令和4年度補正予算関係

- 令和4年度一般会計補正予算（総額5,995億3,945万円、対前年比6.5%減）など計17件

※予算案以外は最終ページに記載しています。

## 本 会 議

各議員が行った質問の中から一部を紹介いたします。

### 質問議員

※質問順

#### 代表質問

2月24日(金)

- 石倉 秀郷 (自由民主党)
- 藤崎 輝樹 (県民ネットワーク)

#### 一般質問

2月28日(火)

- 中倉 政義 (自由民主党)
- 徳光 清孝 (県民ネットワーク)
- 井上 祐輔 (日本共産党)
- 木村 雄一 (公明党)
- 原田 寿雄 (自由民主党)

3月1日(水)

- 池田 正恭 (自由民主党)
- 木原 奉文 (自由民主党)
- 八谷 克幸 (自由民主党)
- 野田 勝人 (県民ネットワーク)
- 石井 秀夫 (自由民主党)

3月2日(木)

- 桃崎 祐介 (自由民主党)
- 土井 敏行 (自由民主党)
- 弘川 貴紀 (自由民主党)
- 稲富 正敏 (自民党・郵の会)
- 定松 一生 (自由民主党)



各議員の質問一覧は、佐賀県議会ホームページでご確認ください。

## 政策・総務



### 山口知事3期目の県政運営について



**問** 知事は3期目のスタートに当たり、「芽吹いてきた取組みを花開かせたい」と表明された。3期目は、SAGAサンライズパークのグランドオープンや「国民スポーツ大会・全国障害者スポーツ大会(SAGA2024)」の開催など、注目すべきプロジェクトが控えており、育ててきた芽が花開いていくことを期待しているが、知事は3期目の県政運営にどのような方針で臨むのか。



**答** 知事就任以来、子育て支援や医療的ケア児の支援など県民の声に寄り添った施策を展開し、自発の地域づくり、SSP構想といった佐賀の未来につながる種を蒔いてきた。

2期目にはコロナや豪雨災害、物価高騰など、県民の命と暮らしを守ることを最優先に対応しながら、中小企業の新分野進出などのチャレンジ支援、内水氾濫対策「プロジェクトF」、

肥料から堆肥への転換による循環型農業の推進など、幅広い分野で佐賀の将来へ布石を打ってきた。

3期目は、SAGAサンライズパークがグランドオープンし、「SAGA2024」の開催を迎える。また、あらゆる産業や生活にデジタル技術が取り入れられ、新しい価値が創造されている未来社会「Society5.0」が近づいている。時代の流れを見据え、時代の要請に応える実践的な人材の育成、佐賀をフィールドにしたデジタル実証などに取り組み、これらを起爆剤として、これまで仕掛けてきた様々な施策や戦略を大きく花開かせていきたい。

引き続き、「人を大切に、世界に誇れる佐賀づくり」を基本理念に掲げ、人にこだわり、人の痛みにも敏感な佐賀、様々な人がそれぞれ輝く佐賀を目指して県政運営に全力を尽くしていく。

### 財政運営について



**問** 知事は、1期目に事業規模約34億円の肥前さが幕末維新博覧会に取り組み、2期目はSAGAアリーナに約257億円、SAGAサンライズパーク整備全

体では約540億円の事業に取り組まれた。3期目に打ち出された県立大学の整備には、建設費等に最大200億円程度が見込まれている。

佐賀県は自主財源に乏しく、財源を国に頼らざるを得ない構造である。一方、国においては、防衛費の増額などが議論されており、最終的な負担のしわ寄せが地方公共団体、ひいては地方で暮らす人々に及ぶことを懸念している。そのような状況におかれた今、堅実な財政運営が求められると思うが、今後どのような財政運営を行っているのか。



財政運営については、常に税金等の状況変化に応じて検証しており、予算についても将来世代を含め、多くの県民に影響を与えるため、慎重に編成に当たっている。一方で、財政の健全性だけを意識し過ぎて将来への投資を行わないと、県勢は縮小均衡に陥るため、様々な面を慎重に考慮した上で、佐賀県の将来の飛躍のために投資すべきと判断したときは積極的に投資を行っている。その際にも、国庫や地方交付税措置がされている地方債を最大限に活用するなど財政的工夫

を一貫して行っている。

また、提案している県立大学については、今後、教育内容や定員、立地等を検討する中で具体的な整備費や運営費も決まってくるが、仮に一定規模の整備をした場合であっても財政の健全性は維持できることを財政当局と確認している。

財政状況は、今後も様々な要因で変化することもあるため、その都度検証を行い、投資の判断をしていきたい。そして、常に財政規律に配慮しつつ、攻めと守りをしっかりと意識した佐賀の将来を見据えた財政運営を行ってきたい。

### 県立大学について



今定例県議会で「県立大学設置準備事業費」が議案として提出されたが、オープンな議論をすることなく、県庁内部だけで検討されており、知事の県立大学を設置したいという思いだけで意思決定したように見える。

高卒者の数が約20年後には現在の4分の3という数になってしまふことが予想されており、大学や短大などが高等教育機関の先行き

に苦慮されている一方で、高等教育機関の充実のために色々な主体が様々な種類の教育機能を拡充させていくことも重要である。

知事は将来の佐賀県における高等教育機関のあり方をどのように思い、どのような人材を県立大学で育成したいと考えているのか。



佐賀県の15歳未満の人口割合は25年間全国3位以上だが、大学進学者の8割以上が県外に進学しており、県内企業の人材確保も難しい状況にある。また、県内には4年制大学が2つしかなく、全国で佐賀県だけが公立大学も高等専門学校もないため、県内で学びたいと思う子ども達の機会損失を招いている。このようなことから県立大学はこれからの佐賀県に必要と考え、議論の基、スタート地点となる「県立大学の基本的な考え方」を示し、今定例県議会で基本構想に関する予算を提案した。

県議会、県民、産業界、教育界など様々な方から意見を聞きながら、県として責任を持った検討を進めていきたい。また、高等教育機関の充実を進めるために、既存の大学や企業等との連携により佐賀から多くのイノベーションを生み出していく状況を作りたい。

県立大学ではIT（デジタル）と経営（マネジメント）の素養を身につけ、鳥瞰的な視点を持ち、自ら考え実践できる人材を育成したい。

## 地域交流



### 江藤新平没後150年記念 特別展について



県が様々な形で取り組んでいる偉人顕彰は、県民、特に若い世代に、地元佐賀や日本、世界の役に立ちたいという熱い志を持たせることにつながっており、若い世代や未来への継承という意味で非常に心強いものとなっている。

佐賀の七賢人の一人である江藤新平は、様々な功績を残し、近代国家の礎を築いた大人物であるにもかかわらず、明治7年の佐賀戦争で賊軍の汚名を着せられ、非業の死を遂げた人物として、ネガティブなイメージが付きまとっている。江藤新平の没後150年を記念として開催される特別展では、江藤新平の功績にも光を当て、佐賀県の誇りある偉人として堂々と



語れるよう取り組んでもらいたいが、今回の特別展にどのように取り組むのか。



今回の特別展では、江藤新平がどのような人物で、どのような志を抱き、幕末・維新期の混乱の時代をどのように駆け抜けたのか、丁寧かつ分かりやすく紹介していきたいと考えている。佐賀戦争については、明治政府側の評価により作り上げられたマイナスのイメージを、江藤の立場、佐賀の視点から捉え直すなど、これまでとは異なる観点で再評価して、江藤新平に対するマイナスのイメージを変え、日本の近代化の礎を築いた功績を明らかにしていきたいと考えている。

今回の特別展を契機として、江藤新平や佐賀戦争に対する佐賀の視点での評価を示すとともに、国家のために尽力した江藤の熱い思いを伝え、県民が江藤新平について熱く語れるようしっかりと取り組んでいきたい。



▲「江藤新平」肖像写真 (©佐賀城本丸歴史館蔵)

## 県立文化施設の 計画的な整備について



博物館をはじめとする文化施設は、その土地の歴史や文化を多くの人々に紹介するにも、後世へ伝えていくという重要な役割を担っており、地域の活力も生み出している。県内には数多くの歴史的、文化的資源を幅広く知ることが出来る県立博物館や九州陶磁文化館など特色ある文化施設があり、これらを有効に活用していくことが大切である。

県立博物館は築52年、比較的新しい佐賀城本丸歴史館でも築18年が経過しているが、老朽化が進行している県立博物館をはじめ、県立文化施設の改修や整備についてどのように考えているのか。



施設の改修、整備について二つの視点で取り組んでいる。

一つは、建物の老朽化対策で、文化施設ごとに長期保全計画を策定している。二つ目は、利便性の向上や展示内容の見直しなど、来館者の満足度に直結する施設の魅力を高める整備を行っている。例えば、九州陶磁文化館の常設展リニューアルや名護屋城博物館の

黄金の茶室の復元など、展示内容の更新だけでなく、分かりやすさ、体感できることなどを考慮している。

こうした取組みを通して、多くの方々に佐賀の多彩な文化芸術や歴史などの魅力を伝えられるよう、また、これらの施設が文化観光の一つの拠点となるよう努めていきたい。



▲リニューアルした九州陶磁文化館の常設展示

## 県民環境



### 人権が尊重される社会づくりを進めるための条例案について

近年、様々な場面でインターネットを利用した誹謗中傷などが深刻な社会問題となってい

る。本県においても、いじめ、DV、虐待、さらには新型コロナウイルス感染症に伴う誹謗中傷など様々な人権問題が発生している。

このような状況のなか、県が、「全ての佐賀県民が一人一人の人権を共に認め合い、支え合う社会づくりを進める条例」案を取りまとめ、今定例県議会へ提案されていることは大いに評価をしている。条例が実効性のあるものとなるよう、趣旨や内容について県民に広く周知を図り、しっかりと運用していくことが必要と考えるが、今後どのように取り組んでいくのか。



本条例では、不当な差別やいじめ、誹謗中傷などを「してはならない行為」として規定しており、このことを県民にしっかりと訴えて、人権問題を自分事として改めて考えってもらう契機にしたいと考えている。

このためには、条例の趣旨や内容が県民に行き渡るように広報誌やイベント等を通じて、広報・啓発活動に力を入れていきたい。また、インターネット上の誹謗中傷等を防止するため、これからデジタル社会を生きていく子ども達を被害者や加害者にならないために

教育委員会と密に連携を図り、条例の趣旨、内容と併せて、インターネットやスマートフォン等の正しい使い方や安全に利用するための意識などを育む情報モラル教育などを推進していく。

また、県が、インターネット上で県民への誹謗中傷等が行われていないかを確認しているネットモニタリングの頻度を増やすなど強化を図りたいと考えている。

こうした取組みにより、県民一人一人が人権問題を自分のこととして考え、自ら行動していくことを促し、県民が人権を共に認め合い、支え合う社会づくりを進めていきたい。

## 健康福祉



### ヤングケアラーについて

**問** 最近、報道などで「ヤングケアラー」が度々取り上げられるようになった。地域の関係が希薄化し、困難を抱えた家庭の実態が見えにくくなっているなか、支援が必要な子どもが潜在化してしまつ可能性があるのではないかと

危惧している。家族のために頑張る一方で、子ども達が進学や就職、将来の夢などを諦めざるを得ない現状があるのであれば、必要な支援につなげることが大事である。県では、ヤングケアラーの実態を把握しているのか。そして、支援についてどのように取り組んでいくのか。

### 答

令和3年度からヤングケアラーの実態把握に努めているものの、潜在的なヤングケアラーをどのように把握していくのかが大きな課題となっている。そこで、ヤングケアラーに関する知識や理解を深めた周囲の大人の方々に地域を増やしていくための研修会を引き続き実施するとともに、子ども達への支援を行っている団体などの意見も取り入れて、潜在化しやすいヤングケアラーを把握する方法等を検討していきたい。さらに、学校でもヤングケアラーに対する教職員のアンテナの感度を高める必要がある。研修会への参加を促すこととしている。

また、今定例県議会では、令和5年度からヤングケアラー専用の相談窓口を設け、子どもや周りの大人を対象とした相談支援や関係機関とのパイプ役を担うコーディネーターを配置するた

めの予算を提案している。子ども達が進学や就職、将来の夢などを諦めないで安心して生活できるように、学校や市町、関係機関、地域と連携しながら、ヤングケアラーへの支援にしっかりと取り組んでいく。



#### ※ヤングケアラー

本来大人が担うと想定されている家事や家族の世話などを日常的に行っている子どものこと。



日本語が第一言語でない家族や障がいのある家族のために通訳をしている



目を離せない家族の見守りや声かけなどの気づかいをしている



障がいや病気のあるきょうだいの世話や見守りをしている



家族に代わり、幼いきょうだいの世話をしている



障がいや病気のある家族に代わり、買い物・料理・掃除・洗濯などの家事をしている



障がいや病気のある家族の入浴やトイレの介助をしている



障がいや病気のある家族の身の回りの世話をしている



がん・難病・精神疾患など慢性的な病気の家族の看病をしている



アルコール・薬物・ギャンブル問題を抱える家族に対応している



家計を支えるために労働をして、障がいや病気のある家族を助けている

この他、県政全般について幅広い議論が行われました。

#### 【主な質問項目】

- ・佐賀空港の自衛隊使用要請について
- ・九州新幹線西九州ルートについて
- ・SAGA2024について
- ・農業の振興について
- ・県内企業への大学生の採用に向けた支援について
- ・教育問題について

など



各議員の質問一覧は  
佐賀県議会ホームページで  
ご覧ください。



総務常任委員会

付託議案の25件が原案可決、1件が承認、1件が同意されました。  
提出された請願1件は採択となりました。

【主な付託議案】

- ・一般会計（当初・補正）予算関係分
- ・個人情報の保護に関する法律施行条例

【主な質疑事項】

- ・県立大学について
- ・佐賀空港の自衛隊使用要請への対応について
- ・ガストロノミーツーリズム推進事業について など

【現地視察の様子】



佐賀県公文書館  
(公文書館の概要と運営状況について)

文教厚生常任委員会

付託議案の15件が原案可決、1件が承認されました。  
提出された請願1件は不採択となりました。

【主な付託議案】

- ・一般会計（当初・補正）予算関係分
- ・県立学校設置条例の一部改正

【主な質疑事項】

- ・夜間中学の周知とICT等を活用した授業の実施について
- ・教員不足の状況とその解消に向けた今後の取組について
- ・北山キャンプ場の再整備と再整備後の利用促進について など

【現地視察の様子】



玄海原子力発電所（特重施設の概要と  
3・4号機発電再開後の状況について）

農林水産商工常任委員会

付託議案の20件が原案可決されました。

【主な付託議案】

- ・一般会計（当初・補正）予算関係分
- ・中小企業融資に係る事業再生のための措置に関する条例の一部改正

【主な質疑事項等】

- ・アフターコロナに向けた中小事業者支援について
- ・産業技術学院について
- ・玄海地区における水産業の振興について など

【現地視察の様子】



佐賀県高性能食肉センター「KAKEHASHI」  
(牛処理施設の概要について)

地域交流・県土整備常任委員会

付託議案の16件が原案可決、1件が承認されました。

【主な付託議案】

- ・一般会計（当初・補正）予算関係分
- ・特定都市河川浸水被害対策法施行条例

【主な質疑事項】

- ・市村記念体育館の利活用について
- ・県内のウクライナ避難民について
- ・建設キャリアアップシステムの普及、活用について など

【現地視察の様子】



佐賀県立名護屋城博物館  
(木下延俊陣跡の整備状況について)

# 議員 クロスアップ



**8期 自由民主党**  
**木原 奉文** きはら ほうぶん  
 佐賀市

座右の銘 実るほど頭を垂れる稲穂かな  
 趣味・特技 神社巡り、ボウリング、旅行  
 心がけて いること 「いばんなのぼすんなめらるるんな」まじりの政治



**8期 日本共産党**  
**武藤 明美** むとう あけみ  
 佐賀市

座右の銘 人に学ぶ  
 趣味・特技 読書、演劇・音楽鑑賞  
 心がけて いること 運転注意、誠意、笑顔



**8期 自由民主党**  
**石井 秀夫** いしい しゅうお  
 嬉野市

座右の銘 政治家は出来ない事は約束しない  
 趣味・特技 ドライブ  
 心がけて いること いつでもどんな時でも心を込めて一生懸命初心忘れることなく



**9期 自由民主党**  
**留守 茂幸** りくしろう しげゆき  
 佐賀市

座右の銘 和をもって尊しとなす  
 趣味・特技 スポーツ観戦、ゴルフ  
 心がけて いること 毎朝愛犬と散歩しながらその日の自分をみつめる事



**6期 自由民主党**  
**土井 敏行** どい しげき  
 鹿島市

座右の銘 和而不同、誠心誠意、利他の心  
 趣味・特技 絵を描くこと、美術鑑賞  
 心がけて いること 心身の健康管理と人の話をよく聞くこと、情報収集



**6期 自由民主党**  
**石倉 秀郷** いしかわ しゅんごう  
 江北町

座右の銘 千慮一失  
 趣味・特技 ゴルフ、ウォーキング  
 心がけて いること 目くばり、気づばり、心くばり



**7期 自由民主党**  
**藤木 卓一郎** ふじき たくいちろう  
 小城市

座右の銘 正々堂々  
 趣味・特技 ゴルフ、演説、交渉事、宴会  
 心がけて いること 正しいと信じて引き受けた仕事は必ず実現する事

県民の皆さまに県議会議員の「人となり」を知っていただき、県議会を身近に感じていただくコーナーです。当選回数が多い議員から紹介します。(全4回)



## 議会録画配信サイトがリニューアル!



「佐賀県議会の録画配信サイト」がリニューアルしました。ユニバーサルデザインに対応し、動画が検索しやすくなりました。

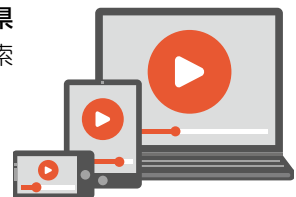
県議会録画配信サイト▶



## 議会の生中継を YouTubeでライブ配信しています。

令和5年度から佐賀県議会中継は、以前より高画質なYouTubeでの配信を始めました。(画質は通信環境で異なります)

ぜひ、YouTube「佐賀県議会公式チャンネル」で検索して中継をご覧ください。



県議会インターネット中継予定▶





## 令和5年2月定例会で条例などが次のとおり可決されました。

### ■ 条例 (26件可決)

- 全ての佐賀県民が一人一人の人権を共に認め合い、支え合う社会づくりを進める条例

#### 【内容】

情報化等の進展に伴い、人権に関する問題は複雑多様化している。特にインターネットによる誹謗中傷等は、大きな課題となっている。このような状況の変化に対応し、様々な人権問題を解消していくため、新たな条例を制定するもの。

#### 主なポイント

- ・ 不当な差別や誹謗中傷等の「してはならない行為」を新たに規定
- ・ 差別の被害者や不安を抱える県民に寄り添う相談体制の整備について規定 等

他25件

### ■ 意見書 (1件可決)

- 有明海再生に係る諸問題について解決を図るよう求める意見書

### ■ 請願 (1件採択)

- 私学助成の大幅増額・教育費の保護者負担の軽減・教育条件の改善をもとめる請願書

その他の条例等はこちら→

令和5年2月定例会  
議案採決結果一覧表 (PDF)



### 速報! 令和5年5月臨時会

5月臨時会で決まった  
正副議長紹介はこちらから  
ご参照ください。



委員会構成はこちらから

※紙面では、R5.9月号に掲載する予定です



## 佐賀県をもっと知るため 議会を傍聴しよう!

県議会の本会議や常任委員会、特別委員会はどなたでも傍聴できます。

また、車椅子利用者、介助者各5名分用のスペース、AIによる字幕表示モニターもあります。

受付開始 午前9時頃  
受付場所 議会棟1階

※車でお越しの方は、県庁来訪者  
駐車場をご利用ください。

### 傍聴中の託児もできます!

傍聴希望日の1週間前までに  
議会事務局までお申し込みください。

対象 生後6カ月～  
小学校就学前

問合せ 0952-25-7215



インターネットでも  
本会議、各委員会の様子を  
リアルタイムで視聴できます。

大学生や高校生などの  
若者の傍聴を  
お待ちしております



登壇者以外の様子や議場の雰囲気など、  
中継にはない臨場感で傍聴できます

### 議場を見学しませんか?

本会議等の行事がない日は、本会議場の見学ができます。

見学を希望される場合は、議会事務局総務課 (TEL: 0952-25-7215) へお気軽にお問合せください。

※事前予約制

見学時間 月～金 / 午前9時～午後5時  
(祝日、年末年始を除く)

所要時間 約30分